次世代自動車センター浜松　活動レポート　Vol.308

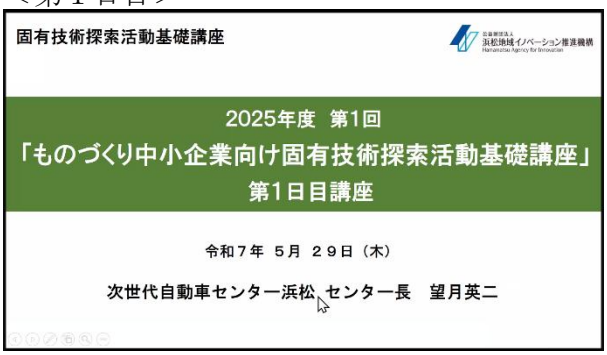
## ■　第１回ものづくり中小企業向け固有技術探索基礎講座（会員限定）

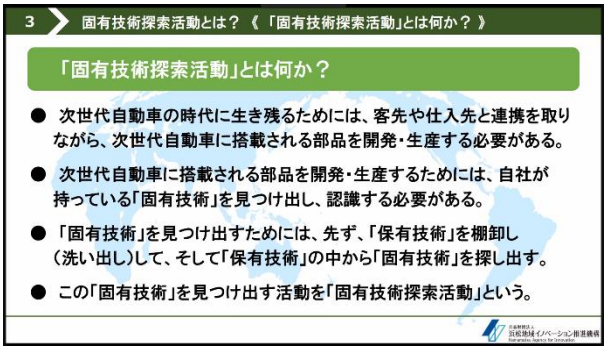
ものづくり中小企業の皆様が次世代自動車に対応するためには、自社の「固有技術・技能」を認識し、活用してレベルアップを図るとともに、次世代自動車に搭載される部品の開発や生産性向上、品質改善など現場改善に取り組むことにより「提案力の向上」を目指して、次世代自動車のビジネスを獲得することが重要です。

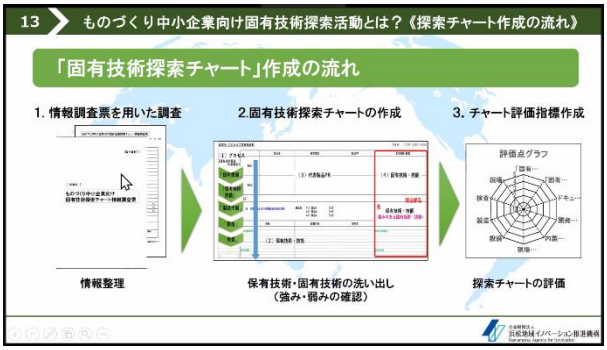
そのため、次世代自動車センター浜松では、自社の技術や技能を見える化する手法として、当センターが開発しました固有技術探索チャートを作成していただく「ものづくり中小企業向け固有技術探索基礎講座」を開催しています。

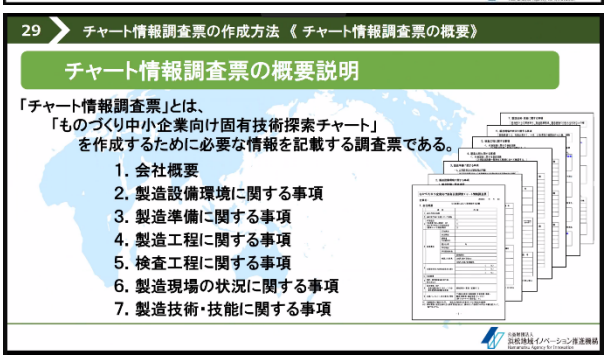
今回、本年度第１回の基礎講座を開催し、当センターの望月センター長が講師となって、第１日目は、固有技術探索活動の概要やチャート情報調査票の作成方法を、第２日目には、固有技術探索チャートや評価指標の作成方法を学んでいただき、また、講座の期間を通して個別相談会を開催し、参加企業の皆様には、８月末までに固有技術探索チャートを完成していただきました。

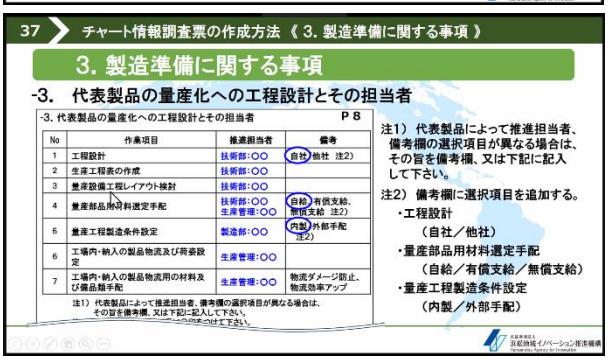
■日　時　：（第１日目）２０２５年５月２９日（木）13 時 30 分～15 時
　　（第２日目）２０２５年７月９日（水）13 時 30 分～14 時 30 分
■場　所　：Ｗｅｂ形式
■参加者　：３社／８名
＜第１日目＞





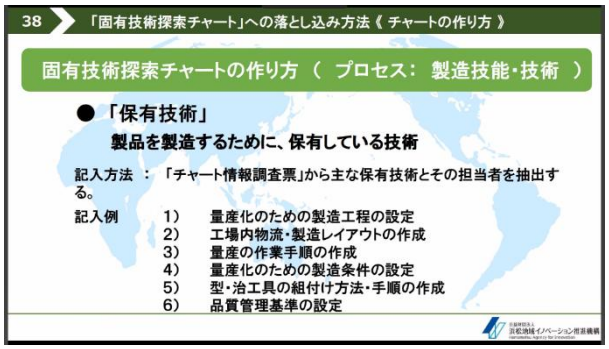



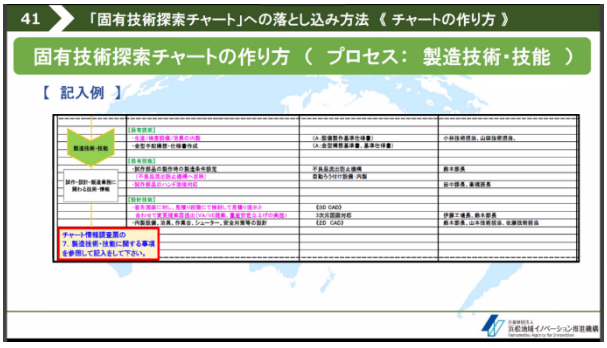



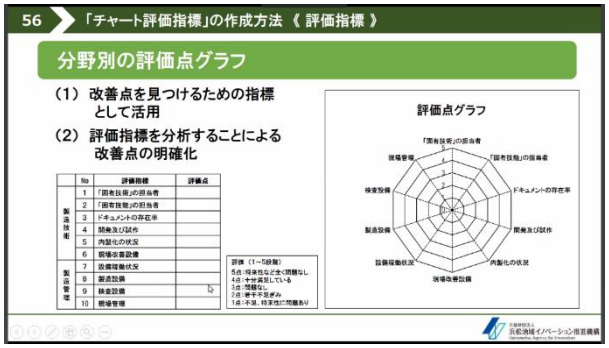



＜個別相談会＞

＜第２日目＞




【参加者の声】

・保持している技術の洗い出しをして見える化することにより自身の強み弱み、会社の強み弱みを再認識するきっかけとなった。今後の課題も明確になり、この講座が良いきっかけとなった。
・これまで漠然と技術伝承が必要だと感じていたが、対象となる技術や優先順位の付け方がわかった。また、自社の強みについての考え方を知ることができ、今後、強みを強化し弱みを改善することに取り組んでいきたい。
・トップダウンで会社を挙げて取り組む活動の難しさを痛感した。保有技術・技能をチャートに落とし込んだことにより、見える化の効果を感じやるべきことがよりはっきりした。
・自分たちにとっては当たり前すぎて気付けていない固有技術に気付くことができた。その上で、どうやったら承継していけるのかという必要性にも気付くことができた。ＡＩでの数値化は必要だが、人による承継が行われることが必要と思っているため、このような気付きを増やしていけるようにしたい。
・工場間の工程比較や生産準備状況を比較するに可視化するツールとしては有効と思うが、日々の生産業務を行っている中で、洗出しやチャートの作成まで手が回らないのが現状だった。ただし、今後製造のＤＸ化、デジタル化が進むことで、自然とデータがそろうようになり可視化が進むという点に期待し、可視化の評価基準に今回の評価を参考にしていきたい。